２番　　小　川　幾　代　　議員

１．孤立する子育て解消のために

（１）医療的ケア児を受け入れるための現在の課題と取り組み状況は

（２）産後ケア事業と家事支援サービス事業の利用状況と対象者の拡大は

２．放課後等デイサービスの利用者への金銭的補助を

３．不妊治療費等に対する助成の１年以上の居住要件の見直しを

４．パートナーシップ、ファミリーシップ制度の創設を